

平成27年度 第5回山縣市まち・ひと・しごと創生会議 会議録（要約）

【日時】 平成27年10月26日（月） 9：30～10：30

【場所】 山縣市役所3階大会議室

【出席者】 （委員） 竹内 治彦 （岐阜経済大学副学長）《会長》
黒見 敏丈 （岐阜女子大学 教授）《副会長》
高橋 清仁 （市校長会代表（伊自良中学校校長））
佐伯 岳人 （ぎふ農協 高富支店長）
早川 徹 （株式会社水生活製作所 代表取締役社長）
近藤 貴紀 （十六銀行 高富支店長）
小島 明 （大垣共立銀行 高富支店長）
小木曾 浩 （岐阜信用金庫 高富支店長）
大家 実 （岐阜公共職業安定所 雇用開発部長）
木村 麻理 （社会保険労務士）
松田 尚康 （岐阜新聞社 本巣支局長）
督 あかり （中日新聞社 記者）〔代理出席〕
丹羽 英之 （市社会福祉協議会 会長）
武藤 行儀 （岐阜乗合自動車 取締役）
今瀬 義幸 （元岐阜県職員）
宇野 邦朗 （市副市長）

（計16人）

（事務局） 久保田企画財政課長
谷村企画財政課主幹
渡瀬企画財政課係長
十六総合研究所

【欠席者】 （委員） 高橋 信夫 （市自治会連合会代表（市自治会連合会副会長））
宇野 睦 （市商工会 会長）
浅野 修司 （岐北厚生病院 事務局長）

【次第】 1 会長あいさつ
2 議事 山縣市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定について
3 その他

【資料】 資料1 創生会議次第
資料2 パブリックコメント及び庁内関係部局意見等の反映箇所一覧

■ 会長あいさつ

■ 議事 山縣市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定について

資料2「パブリックコメント及び庁内関係部局意見等の反映箇所一覧」について
事務局から説明

○竹内会長 以上宜しいでしょうか。これで差し支え無ければお認め頂いて最終版とい

うことにしたいと思いますが、宜しいでしょうか。

ご発言ありませんので、このようにパブリックコメント等を踏まえて訂正させて頂きまして、訂正されたものを最終案ということにさせて頂きたいと思っております。

○事務局 資料につきましては、修正したものを郵送でお送りさせて頂きたいと思っております。

[竹内会長から林宏優市長へ答申]

○竹内会長 山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略について(答申)。このことについては、5回の審議を重ねた結果、山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略の案をまとめましたので、別紙のとおり答申します。宜しくお願いいたします。

○林市長 ありがとうございます。〔拍手・写真撮影〕

○林市長 ただ今答申書を頂きました。5回に渡りまして本当に慎重にご審議頂きました答申の内容を精査いたしまして、来年度の予算編成にいかしていきたいと思っております。山口市には様々な課題がございます。一つには、県内唯一の起債許可団体を脱出したとは言え、まだ県内では一番多くの市債がございます。また、東海環状は国で整備して頂きますが、こういった社会的インフラ、道路インフラを、いかに山口市のまちづくりにいかしていくかということも大きな課題でもございます。財政的にも非常に厳しい状況ではありますが、行政改革を進めながら、皆様方の思い、趣旨に沿いましてこれからのまちづくりを進めていきたいと思っております。この短期間に何回もご審議して頂きました皆様に対して心から感謝を申し上げまして、お礼のご挨拶にさせて頂きます。ありがとうございました。

○事務局 それでは、委員の皆様にお伺いしたいと思います。

○A委員 めざすべき将来の方向については、本来的には住環境整備が大きく関わってくると思っております。日常生活においてゆとりを持ち、良い環境の中で生活をする。そういう形で山口市のまちづくりが進むと良いと思っております。

○B委員 この計画をいかに実行していくかが重要です。行政として非常に苦手であったPDCAサイクルをいかに回して結果を評価し、その結果から次のアクションに移していくということを今回の計画には強く出して頂いております。非常に責任を感じるとともに、これから職員と一緒に脳に汗をかいてやっていたらと思っております。是非我々の結果にも注視して頂いてアドバイス、ご意見を今後頂けたらと思っております。

○C委員 まちを発展させるためには、たくさんの人に来て頂いて、子どもをたくさ

ん作って頂いて、子育てをこの山口市でして頂くということが何より肝要かと思っております。そういう意味で学校の果たす役割は大変重要であり、責任は重いと考えております。また、なかなか難しいことは重々承知しておりますが、他市町の教育環境と比較して見劣りしないよう、是非とも教育予算への配慮をご検討頂きますようお願いいたします。

○D委員 雇用の状況としましては、8月の求人倍率が1.7倍を超しており、非常に人手不足感が各地企業にございます。特に若い方についての人手不足のお話をお聞きすることがございます。今後、何かお手伝いをできることがあれば、是非こういった機会を機に、勉強させて頂き連携させて頂きたいと思っております。

○E委員 企業経営の立場からすると、社会的使命の一つとして雇用を継続していくことと拡大していくことがあると思っております。今回の基本目標の中に地域の活性化と雇用創出も入っていますし、女性の活躍支援という所も企業経営にとっても重要なところですよ。我々が頑張ることによって山口市が盛り上がっていく、特に地域の魅力に我々がなればというようなことも感じた次第です。伝統を守っていくことは変革し続けていくことだと考えております。

○F委員 まちづくりと公共交通というものは切っても切れない、非常に関係の深いものだと思っております。人口減少は進んでおりまして、コンパクトシティを目指して、住み良いまちづくりができればと思っております。今後も公共交通の話を山口市さんと一緒に取り組んでいきたいと考えております。

○G委員 やはり山口市は、まだ住んでみたいというイメージに至っていないと思います。山口市の良さを創出し、それを維持していくことが大事であると思えますし、もっと女性が子育てし易い環境を取りまとめて、ホームページ等でPRしていかなければならないと思えます。またマスコミの力をお借りしてその都度取り上げて頂き、外に向かってPRして頂くような戦略も持って頂きたい。山口市に一人でも多くの方が移住定住して頂けることを願っております。

○H委員 先日県外（神奈川県藤沢市）でふれあいバザールの方とワークショップをして来ました。「桑の木豆のお萩」「桑の木豆のおこわ」といったものを提供してきました。非常に楽しんで頂けて、今度はジビエを使ったハヤシライスを作るワークショップをやることになっています。関東で全然知名度が無いからと言ってPRしないということではなく、関東で検索できるような、そんな地域なんだというところをちょっと違う視点で表に出す。そして企画やアイデアも非常に大事です。実行する力も非常に大切になってくると思えます。そういった所に力を入れていって頂ければと思えます。

○I委員 グリーンプラザみやまに遊びに行ってきたして、自然に囲まれてなかなか良い場所だなあと思えました。また伊自良湖でもコンサートをやるなど、若

い人を田舎に集めるような取組が山口市で取り組まれています。やはりマスコミとしてもどんどん山口市の取組を発信していけたらなあと思います。

○J委員 総合戦略に基づきつつも、必要性があれば柔軟に事業の中身を変えて頂いて、今後のまちづくりを進めて頂ければと思っております。

○K委員 私ども金融機関も今地方創生というものに力を入れておまして、一緒に地方創生に取り組んでいけたらと思っております。

○L委員 非常に分かり易いイメージし易い計画ができたと思います。これは具体的な施策であり、PDCAサイクルをしっかりと回していくということが非常に大事になります。これからが本番かと思っております。我々金融機関としても非力ながら力を尽くして参りたいと思っております。

○M委員 このような戦略やビジョンは非常に息の長いものでございまして、すぐに結果が出るものではありません。金融機関は、経済の血液であるお金をいかに円滑に回していくかということが一番の役どころであります。是非金融機関として役に立っていきたいと考えております。

○黒見副会長 この短期間に戦略がまとまったということは非常に良かったと思っております。内容としてもかなり盛りだくさんではありますが、ポイントもある程度明らかになって、良いものになっていると思っております。今後、人口減少の中で生き延びていくためには、やはり子育て支援と教育のことにかなり力を入れておく必要があります。住む場所を選ぶ時に子どもの教育というのは今の時代では重要な問題だと思います。もう一つは、やはり美しいまちを作って頂きたい。新しい建物とかではなく、生活している人が美しいまちを作って頂きたい。もう一つは、市民にとって、この戦略に書かれていることと、実際の生活の中での課題、問題は、かなりギャップがあるのかもしれないということです。そのギャップを埋める努力を行政の方で是非力を入れてやって頂きたい。

○竹内会長 人口の問題としては自然減と社会減があります。自然減についてですが、出生率、出産件数をいかに多くするかというのは、息の長い話で何十年に渡って取り組んでいかなければならないことかと思えます。もう一つの社会減についてですが、山口市の場合は、若い人が結婚をすると岐阜市に移り住むという傾向が強く、それが大きな影響を持っていると思います。また、スペック的に明らかに見劣りがする場所はなく、またある程度人口が少ない分だけ、整った教育も提供できる可能性が大きいと思います。山県という地名が奈良時代から記録があるということで、その頃から住むのに良い場所だったのであるということです。この良さを市民の皆さんが自覚され、どんどんと発信していくことが非常に重要かと思えます。山口市に暮らしていると、質的に充実して良い暮らしができるというように思えることが社会移動を減ら

し、あるいは移住人口を呼び込んでいきます。第一義的には社会移動をまず止めるということが初期段階では非常に重要ということです。

○事務局 ありがとうございました。私ども事務局としては、本当に想像以上のものができたと感じており、予定よりも本当に素晴らしいものを作って頂いたと思っております。竹内先生の強いリーダーシップのもとに、委員の皆様との闊達なご発言等がありまして、素晴らしい人選をさせて頂いたと思っております。また、これで終わりではなくて、委員の任期は平成29年6月25日まで続いております。市長からも話がありましたが、予算編成の時期に入っており来年度予算を決めていくスケジュールになっているのですけれども、お金があまりありません。しかし、お金が無いから何もやらないということではなく、従来の仕事を大胆に見直す。思い切って効果が少ないものは見直して止めていくという気持ちで大胆なスクラップ&ビルドをやっていきます。来年度以降のことが決まりましたら、皆様方の所にご案内申し上げますので、是非お力添えをお願いしたいと思います。

○林市長 就任させて頂いて5年になりますけれども、今一番考えていることをお話させて頂きたいと思っております。教育の大切さを私自身も特に実感しているところです。山口市は教育的なハード面は近隣市町村と比較して優れていると思っております。今年の4月から、教育委員会制度が今回変わって、首長が教育委員を招集し、首長が教育のあり方についてメッセージを送ることができるようになりました。私は今回、山口市の教育大綱を作るにあたり、以下のことをしっかり大綱の中に盛り込んで頂きたいと考えた次第です。「師を仰ぐ心、師とは親、先生、先輩、地域の人々。子は人々の熱き思いに育てられていることに感謝し、教育はそれらの人を尊ぶ心を養う」。私はこの感謝と尊ぶ心があれば、今の少子化ですとか、高い未婚率は解消されるのではないかと考えております。家庭とか今生きていることとかに感謝する、そういった思いというものが非常に少ないような気がしています。社会に出ても先輩と後輩の関係や思いも無いですし、地域に入りましても今自治会に加入しない方が多かったです。そういったことを実感として持っていましたので、この4月に作って頂いた教育大綱の中にこの文言を入れさせて頂きました。そしてもう一つ。子育て支援日本一ということで、保育料を無料化したことや、高校生の医療費も申請して頂ければ100%お返しする、また、子ども1人生まれれば10万円、2人目10万円、3人目からは20万円の振興券でお返しするという施策を進めていますが、外へのメッセージを今まで以上に発信していかなければいけないと思っております。どこの市町も人口減少対策を前提として計画づくりをしているかと思いますが、財政的に厳しい中でも、少し挑戦的な財政運営、仕事をしていきたいと考えております。今後におきましても、いろんな形でご支援頂きますことをお願い申し上げまして自分の思いを伝えさせて頂きました。ありがとうございました。

○事務局 それでは、これにて区切りにさせて頂きたいと思っております。本日で終わりで

はありませんので、また改めてご案内いたします。その時にはまたお力添えをお願いしたいと思います。では本日これで会議を終わらせて頂きます。ありがとうございました。

(終了 10:30)